

日常空間

谷井美恵子歌集



谷井美恵子
あかひで
村也

現代短歌全集

47

常空間

谷井美恵子歌集

短歌新聞社

日常空間

現代短歌全集47

昭和63年9月9日発行

著 者 谷 井 美 恵 子

発行人 石 黒 清 介

印 刷 協 同 印 刷 K K

発行所 短 歌 新 聞 社

〒166 東京都杉並区高円寺南4-43-9

振 替 口 座 東 京 5-21683

電 話 03 (312) 9185

1092-000404-4362

定価 1800円

目次

旅人 混沌 歲月 夏の日 祝婚花 境 燦燦 風景 邂逅 浪浪 変色 哭く膝 日の羊齒

二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 〇九 〇八 〇七 〇六 〇五 〇四 〇三 〇二 〇一

藤棚の下

一四

敷居

一三

略歴

一六

あとがき

一五

日常空間

旅 人

人あるく道のとなり
に眼にみえぬ川あり
水のゆくおとのする

生きてゐる体あることに気づきけり
双手に顔を覆ひたるとき

ああ梅花さやかに匂ふにんげんの
寂しき顔を
つつみ咲きて

梅 真白空^{くう}に真白 まだなにもわれしてゐない
まだわれなにも

人ひとり渡りをはりたりしのちひときは震ひ
やまぬかけ橋

日の下を行けど行けど山路をかかへてまがる
かひなのありぬ

またたれかたちどまりたるならむ野の一本道
ゆれうごく

腹を擦り地べたをあるくてふてふをわれはひ
そかにみてしまひたる

左手より右手にもちかへまた左にもち替へて
行く春の山道

旅人の眼に見つめられ中ぞらに一りんの花い
くたびも咲く

あざやかに杉と呼べり傾きて立ちをりたれば
はじめてよびぬ

いのちあるものはゆらめき揺れうごく砂あら
し吹く暗き地上に

花ばたけのなかにたふれてゐる鳥のあると熱
く直感しをり

ひとは旗をわれは花を持ちたりしばかりにか
らだかくれてしまふ

かあと啼き押し黙りたる樹のうれの鴉を信じ
つづけてをりぬ